

フツウを見つけろ、フツウを解体せよ。

フツウ
って
なんだ？

私たちの日常の中にある「フツウ」に気づくための第一歩

フツウ・ラボ

すぎなみ大人塾総合コース **ジブン**・ラボシリーズ2024

2024年 **9/21(土)** ~ **12/14(土)**

全7回 講義&ワークショップ・特別講座

お問合せ：杉並区立社会教育センター 電話：03-3317-6621(平日午前8時30分~午後5時)

主催：杉並区立社会教育センター 企画：Learning Design Lab.

後援：東京大学先端科学技術研究センター 当事者研究分野(熊谷研究室)

—熊谷研究室では、内閣府ムーンショット型研究開発事業ムーンショット目標9「2050年までに、こころの安らぎや活力を増大することで、精神的に豊かで躍動的な社会を実現」内で、多様なこころを脳と身体性機能に基づいてつなく「自在ホンヤク機」の開発をしています。



杉並区



東京大学
先端科学技術研究センター



MOONSHOT
RESEARCH & DEVELOPMENT PROGRAM



Learning Design Lab.
ラーニングデザインラボ

フツウ・ラボ

ダイバーシティやインクルージョンを、単なる「理念」ではなく、確たる「知見」や「技術」として習得するためにはどうしたらいいだろう。そのような問いのもと、自分の助け方や理解を見出していく『当事者研究』の手法をベースに、一般市民によるラボ活動として2022年度から始まったシリーズ講座『ジブン・ラボ』。2023年度は『チガイ・ラボ』と題して、発達障害や依存症、統合失調症など、さまざまなマイノリティの当事者から見えている世界を学ぶ講座を開催しました。


2024年度のテーマは、『フツウ・ラボ』。本講座は、私たちの社会のフツウについて改めて考えていくために、身近なコミュニケーションにおける多数派のルールやしぐみを講座とワークショップを通して学んでいきます。私たちの日常の中にある「フツウ」に気づくための第一歩。さまざまな参加者同士のチガイから、新たな視点を見つけていくラボ活動に興味ある方、ぜひお待ちしております。

※本講座は、東京大学先端科学技術研究センターの当事者研究分野(熊谷研究室)、内閣府ムーンショット型研究開発事業(JPMJMS2292)と協働して行います。

全7回 講義&ワークショップ+特別講座						
9月21日(土)	9月28日(土)	10月19日(土)	11月7日(木)	11月16日(土)	12月7日(土)	12月14日(土)
14~17時	14~17時	14~17時	19~21時	14~17時	14~17時	14~17時
オリエンテーション	講義+ワークショップ① 感情ってどこからくるの? —感情と社会—	講義+ワークショップ② 会話しやすい配置とは? —F陣形システム—	特別講座 マジョリティの特権ってなに? 出口 真紀子 (上智大学教授)	講義+ワークショップ③ フツウの会話のルールとは? —順番交替・言葉と行為の所有権—	講義+ワークショップ④ 会話のちょうどよさってどんなもの? —グライスの格率・ポライトネスの原理—	クロージングセッション

学習支援者	伊藤 剛 編集者・クリエイティブディレクター	
<p>2001年、コミュニケーションデザインを専門とする株式会社アソボットを創業。ジャーナル誌『GENERATION TIMES』を始め、多くのメディア企画を手がけるほか、まちと学びを編集するNPO法人シブヤ大学を設立(グッドデザイン賞2007)。以後、学校や自治体の教育プログラムの開発に携わり、2021年には、新しい学び方をつくる『Learning Design Lab.』を発足する。主な著書は『なぜ戦争は伝わりやすく 平和は伝わりにくいのか ~ピース・コミュニケーションという試み~』(光文社)、『被災地デイズ』(弘文堂)など。</p>		

担当講師	熊谷 晋一郎 医師・研究者	
<p>1977年山口県生まれ。新生児仮死の後遺症で、脳性まひに。以後車いすでの生活となる。東京大学医学部卒業後、病院勤務などを経て2015年から現職。専門は小児科学、当事者研究。博士(学術)。著書『リハビリの夜』(医学書院、2009年)で第9回新潮ドキュメント賞を受賞。近刊は『当事者研究をはじめよう』(同、2019年)、『小児科の先生が車椅子だったら』(ジャパンマシニスト社、2019年)、『当事者研究』(岩波書店、2020年)など。</p>		

担当講師	綾屋 紗月 研究者	
<p>自閉スペクトラム当事者。東京大学先端科学技術研究センター特任准教授。長年「当事者研究」に取り組み、その歴史・理念・方法について研究している。最近では国際的な自閉症コミュニティとつながり、自閉症者とアカデミアの共同研究のための課題についても検討している。主な著作に、共著『発達障害当事者研究』(医学書院、2008年)、共著『つながりの作法』(NHK出版、2010年)、編著『ソーシャル・マジョリティ研究』(金子書房、2018年)、『当事者研究の誕生』(東京大学出版会、2023年)など。</p>		

申込方法	講座参加を希望される方は、下記のロゴフォーム(二次元コード)またはEメールにて、件名「フツウ・ラボ参加希望」と記入し、住所、氏名(ふりがな)、年代、電話番号を明記の上、 8月22日(木) までにお送りください。 Eメール: shakyo-c@city.suginami.lg.jp	説明会	オンラインにて講座概要の説明会(事前説明会)を 8月21日(水)19時 より開催します。ご参加希望の方は、2日前までに右記ロゴフォーム(二次元コード)にてお送りください。(Eメールでもお申し込み可)
------	--	-----	--

対象・定員	杉並区在住の方・30名(お申し込み者多数の場合は抽選)	主催	杉並区立社会教育センター	費用	無料
会場	セシオン杉並(杉並区梅里1-22-32)	お問合せ	電話:03-3317-6621(平日午前8時30分~午後5時)		